専大スポーツ

No. 282

大会結果、予定は体育会ホームページ（専大ホームページ「スポーツ」からログイン）でご確認ください
専大スポーツweb（http://sensupo.web.fc2.com/）でも大会結果を配信しています

▲　久保田主将を胴上げし、喜びの部員たち

準硬式野球・全日本大学選手権

準優勝　チーム一丸で全力プレー　昨年の「ベスト８」超える

全日本大学準硬式野球選手権が8月26日から31日まで、みどりの森佐賀県営球場ほかで行われた。専大は決勝で敗れたが、昨年のベスト8を超える準優勝に輝いた。

個人では投手の川田展行（経営2・桐生第一高）、捕手の児島祐（経営2・太田市立商高）、内野手の久保田真史主将（商4・太田市立商高）、坂東龍一郎（ネット情報3・県立岐阜商高）、外野手の辻幸達（法4・若狭高）が表彰選手に選出された。

初戦の京都産業大に5―1、続く富山大医薬学部に7―4と危なげない戦いで勝ち進むと、準決勝・関西学院大戦は、先発・川田の好投が光り、2―1で接戦を制した。

迎えた決勝戦は今年度に入って4回対戦している中央大。中継ぎでの当番も含め、4連投となった川田がリズムの良いピッチングで9回を1失点に抑えるも、打線が援護できず、0―1で惜敗した。

大会を振り返り、久保田主将は「最後まで強い気持ちを持って戦えたことと、チームが一体となってプレーできたことが、今大会の収穫」と話した。

最後の最後までですがすがしく、全力プレーをしていた選手たち。試合後には悔しさも見られたが、それ以上に達成感に満ちていた。（佐山　竜太・経済3＝写真も）

◀　力投する川田（撮影＝森住）

テニス・全日本学生選手権（女子ダブルス）

重藤・難波組が優勝

専大勢　15年ぶり大学日本一

▲　息の合ったプレーを見せる重藤（左）と難波

全日本学生テニス選手権が8月5日から15日まで、東京都の有明テニスの森公園で行われた。女子ダブルスで重藤真知子（文2・筑陽学園高）・難波沙樹子（文1・新宿山吹高）組が見事優勝を果たした。専大勢としては15年ぶり2度目の大学日本一となった。

準決勝は3時間を超える大接戦。フルセットまでもつれ込んだが、粘り強いプレーを見せ6―7、6―2、7―5で決勝進出を決めた。決勝は今大会第6シードの筑波大ペア。立ち上がりは相手の巧みなボレーの前に苦戦したが、難波の安定したストローク、重藤の強烈なスマッシュやボレーが決まり、6―3、6―4のストレートで勝利した。

重藤は「1ポイント、1ポイント力を合わせてプレーをすることができた。秋のリーグ戦でも自分たちの力を精いっぱい出し切れるよう、練習に励みたい」、難波は「優勝できて本当にうれしいし、自信につながる。ここで気を抜かず、リーグ戦ではシングルスでも勝てるように頑張りたい」と語った。

「応援が支えになった」と声をそろえて言っていたが、部員たちのサポートが大きな力となっている。いつでも「チーム」として戦う専大にこれからも期待したい。

また、男子ダブルスでは干場義政（商4・法大第二高）・渡辺輝史（商1・湘南工大附高）組がベスト8入りした。（菅原　亜美・文2＝写真も）

▲　トロフィーを手に喜びの重藤（右）、難波

関東学生選手権

干場・渡辺組が3位

関東学生選手権は8月31日～9月5日、東京都・武蔵野ローンテニスクラブほかで行われ、男子ダブルスで干場・渡辺組が3位に入賞した。

準々決勝までは安定したプレーで勝ち進み、準決勝で慶応大ペアと対戦。タイブレークの末、第2セットを落とすとリズムを崩し、6―4、5―7、0―6で試合を終えた。

渡辺は「勝てる試合だったが、大事なところで弱気になった」と話し、干場は「自分たちの良いプレーを出せなかった。次は大学最後のリーグ戦となるので、全勝目指して頑張りたい」と語った。（菅原＝写真も）

▲　全日本学生・関東学生ともに活躍した干場（右）、渡辺組

漕艇・全日本学生カヌー選手権

カヤック２種目で上位に

団体カヤック６位、総合９位

◀　2大会で活躍したK―4のメンバー（左から松田、渡邉、真鍋主将、和田）

全日本学生カヌー選手権が8月28日から9月2日まで、石川県の木場潟湖で行われた。真鍋達朗主将（商4・久美浜高）・松田雄幸（経営4・谷地高）・渡邉秀幸（文4・富士河口湖高）・和田恭平（商3・二本松工高）組がカヤックシングル（K―1）500㍍×4リレーで3位、カヤックフォア（K―4）1000㍍で5位と2種目で上位に入賞。団体ではカヤック部門6位、総合9位だった。

また、同会場で行われた関東学生カヌー選手権（8月9～12日）では、真鍋主将・松田・渡邉・和田組がK―1・500㍍×4リレーで大正大に敗れ2位。同組がK―4・1000㍍で3位、渡邉がK―1・1000㍍で4位となるなど健闘したが、団体はカヤック部門3位、総合4位に終わった。

中井文明監督は「全日本学生、関東学生と昨年より順位を下げてしまった。次の日本選手権では、本学が得意とする短距離があるので、そこで優勝を目指したい」と話した。（森住　綾・文2）

「日本選手権」に期待

水　泳・関東学生選手権（競泳女子）

岩永が２冠

400㍍自由形
800㍍自由形

池永は100㍍自由形で優勝

▲　２種目の優勝メダルを手に笑顔の岩永

関東学生選手権水泳競技大会（競泳競技）が8月3日から5日まで、神奈川県の相模原市立総合水泳場で行われ、岩永美里（経営1・八王子高）が女子400㍍自由形で4分16秒85、同800㍍で8分49秒5とともに大会新記録で2冠を達成した。

また、同100㍍でも池永早弥佳（法4・東京立正高）が57秒55で優勝。同200㍍では池永、同50㍍では原さやか（法4・八王子高）が2位となり、大学対抗では女子1部で4位となった。

岩永の400㍍予選は、4分19秒86の大会新記録。1位で決勝進出を決め、決勝ではさらに大会記録を塗り替えて優勝した。「大会記録は更新したが、自己ベストが出なかったので納得はいかなかった。しかし、チームに貢献できたことがうれしいです」と話し、インカレに向けては「個人種目で優勝を目指して頑張りたい」と意気込みを語った。（菅原）

Sports カレンダー

◇ゴルフ部
▽関東大学秋季A／Bブロック対抗戦
9月21、22日（茨城ロイヤルカントリー倶楽部）

◇水泳部
▽日本選手権（水球競技）
9月25～27日（横浜国際プール）

◇相撲部
▽全国学生個人体重別選手権
9月20日（川崎市営相撲場）

◇卓球部
▽全日本学生選手権
10月8～10日（横浜文化体育館）

◇フェンシング部
▽関東学生選手権
10月8～15日（駒沢屋内球技場）

◇陸上競技部
▽「箱根駅伝」予選会
10月17日（立川市国営昭和記念公園）

◇レスリング部
▽全日本学生王座決定戦
9月25日（駒沢体育館）